【 誰もが「生きていてよかった」といえる街づくり 】

ぽ ぽ だ よ り

(特活) NPO ぽぽハウス ～*居宅介護支援*(ケアマネージメント)・*訪問介護*(ヘルパー)
ひろば事業(高齢者ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ・児童ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ・ｷｯｽﾞﾙｰﾑ・ぽぽキッズくらぶ)
児童デイサービス「はばたき」
子育て支援事業(ハピネスあそびひろば・ぽぽあそび隊・むぎゅむぎゅﾀｲﾑ)
彦根市委託事業…すくすく教室・のびのび教室)
彦根市北老人福祉センターハピネスひこね指定管理

【HP 版】 №117 2012 年 2 月 25 日発行

発行 特定非営利活動法人 **NPO ぽぽハウス**
〒522-0043 彦根市小泉町 300-9 ｻﾝﾛｰﾄﾞﾋﾞﾙ II 2F
(TEL) 0749-27-9777 ・ 21-0664 (FAX) 21-0665
E-mail popohouse@nifty.com ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.popo-house.jp/

‘ひろば’では、ダンボール箱の鬼の口に向かって、豆ならぬお手玉を投げ入れました。

鬼は外！ 福は内！

児童デイ・はばたきの合同豆まき大会。新聞紙を小さく丸めて作った豆を、交代で子鬼にぶつけました。みんな大騒ぎ！

〈今月の中面〉
○「タッピングタッチ」 ○日中「おでんづくり」
○「はばたけ！チャレンジャー！」報告

ぽぽハウス スタッフルーム通信

今月ご紹介するのは、「はばたき」スタッフの小川さんです。活動の時は「おかあさん」のように、こどもたちを温かく見守ってくださっています。

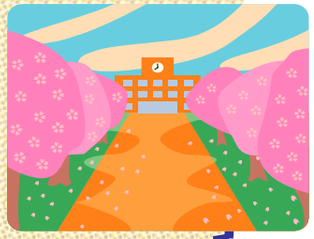
「はばたき」に勤めて、はや三か月たちました。勤めた当初はどれくらいこの職場でこの仕事をさせてもらえるか不安でした。慣れないことばかりで落ち込んだこともありましたが、持ち前の元気とパワーでこれからもがんばっていきたいと思います。

まだまだみなさまにご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

《日中一時支援事業集団活動プログラム》

「卒業を祝う会」のおしらせ

日時:2012 年 3 月 20 日(火:春分の日) 9:30～
場所:彦根市北老人福祉センター ハピネスひこね
対象:小学 6 年生以上



ぽぽキッズくらぶ(3 歳児対象) 2012 年度募集中！

活動日 :週 2 回(火・金曜日…週 1 回は午前中の活動、1 回はお弁当日)
主な活動場所 :ひろばキッズルーム
＊親子活動、戸外での活動も予定しています。
詳しいお問い合わせ先は… (0749) 21-0664 本部事務局まで

« 編集後記 » 今年は久しぶりの大雪で、年明け 2 カ月間、「雪かき」が大きな仕事の 1 つでした。仕事に行く前、車を掘り出すことから始まり、朝、デイの利用者さんや子どもたちが来る前にひとかき。帰るときにはまた自分の車を掘り出し、家に着いたら今度は駐車場の雪よけ。さらに夕食後の運動を兼ねて(!?)夜の雪かき…。二の腕が若干たくましくなり、背筋も多少たくましくなったかも。(P)

「タッピングタッチ」で リラックス

～彦根市市民活動促進事業 「アクティブシニア講座」～

２月９日に彦根市市民活動促進事業　アクティブシニア講座として、『タッピングタッチで心と体を健康に』をおこないました。当日は、地域の高齢者の方を中心に、18 名の方の参加があり、みなさんにタッピングタッチを体験してもらいました。

「タッピングタッチ」とは、指先の腹のところを使って左右交互に軽くはずませるようにタッチすることを基本としたホリスティック（統合的）でシンプルなケアの手法です。

◎不安や緊張感が減り、リラックスする。◎血行が良くなり、疲れや痛みが軽減する。などの効果があります。病院や緩和ケアなどの専門家から、ストレスや疲れのある人、不登校の子供のケアなどあらゆる人に活用ができます。　実際に「タッピングタッチ」を体験していただいたら、「気持ちいいわ。」「優しくされてる感じがする。」という感想が何人かの方から聞かれました。多くの人達が利用し、個人、家族などたくさんの方の健康が促進される事を願います。　(**看護師　岡本**)

《日中一時支援事業
集団活動プログラム》

おいしかったね！ みんなでおでんと たきこみごはん

2 月 18 日、ウイズで炊き込みご飯とおでんづくりの集団活動プログラムがあり、「ぽぽハウス」と「はばたき」の子どもたち 17 名が参加しました。事前に、大根やじゃがいもを畑で収穫したり、必要な食材を買いにいったり、当日つくるメニューを決めたりと、子どもたちと一緒に少しずつ準備を進めていきました。当日は、小雪が舞う中「ぽぽハウス」の子どもたちは大根の収穫に行きました。「はばたき」の子どもたちは、手分けをして野菜を切る役、米をとぐ役、調味料を量る役と協力して調理を進めることができました。炊き込みご飯に入れるにんじんをとても細かく切ったり、ごぼうを切るとき左手をきゅっと丸めて真剣なまなざしで切ったり、おでんの具のゆで卵の殻を丁寧にむいたりと、一人ひとり本当に一生懸命に取り組む姿がみられました。

できあがった料理はどれもほかほかあたたかく、特におでんに入れたとれたての大根・じゃがいもは柔らかく甘みがあり、とてもおいしかったです。子どもたちもスタッフも、みんなおかわりをして、大満足な一日でした。（井口）

《広域的な活動拠点事業(滋賀県補助事業)》

はばたけ！ チャレンジャー！

～体験活動プログラム(全７回)を終えて…～

２月５日、活動の終盤に感動的な場面を目にすることが出来た。

これまで７回のプログラムを共に活動してきた支援者との別れを惜しんで悲しみを堪える姿、支援者も一緒になって涙を流す姿。離れがたくて支援者の手を取り握手する姿、支援者に体を寄せてスキンシップをせがむ姿…。プログラムに参加していた児童たちが活動を通して支援者と深く強い絆で結ばれていることがよくわかり、傍らで見守る私達スタッフにも胸に迫るものがあった。

体験活動プログラムの最終回“ 思い出ランチを楽しもう！ ” 修了式。第３回のピザ作りと第５回の季節の食材を使った調理の経験を活かして再度チャレンジし、昼食づくり。全プログラムを記録写真で振返り『はばたけ！チャレンジャー！』の“ 思い出カード ”を作って修了式を実施した。

『はばたけ！チャレンジャー！』で、障がい児童が実際に社会に飛び出し、さまざまな社会体験を積み重ねて経験の積み上げ（施設を利用する事、公共交通機関を利用する事…障害手帳で切符を買う等）で、子ども達自身が育つだけでなく、関わる社会の人たちにも障がい者・児童と出会うことで理解を深めてもらいたいという目的は、毎回のプログラムを実施している中で少しずつ果たされていると感じられた。

しかし実社会では、障がい者・児童に家族以外に寄り添う支援者が居る事はほとんど無く、障がい者・児童自身が勇気を持って「困っています。助けてください！」と声を上げるなり意思表示しない限り困り事を理解されない。地域社会の中に障がい者・児童や障がいについての理解者をひとりでも増やしていくことが必要不可欠であると改めて感じ入り、今後引き続き私達の日常的な活動の中で、児童自らが声を上げられる機会、意思表示が出来る機会を作って支援していく必要があることを確信した。　（コーディネーター　尾田）

社会へはばたく‘ チャレンジャー ’たちのことをより理解していただくためにリーフレットを作成しました。市内各所に設置予定です。一度ご覧になってください。また、設置にご協力いただける方は、下記連絡先までおしらせください。

「はばたけ！チャレンジャー！」　事業報告会＆研修会

日時：2012 年 3 月 10 日（土）　15：00～
場所：彦根市北老人福祉センター　ハピネスひこね
※一般の方もご参加いただけます。事前予約不要。当日直接会場へお越しください。

※この事業に関するお問い合わせ先：☎（080）1498-4626（担当：尾田）